

年度	2019年度（平成31年度）		
科目	アセンブラ言語 【実習形式】		
担当	瀬戸村 勝利	使用教室	22
実務経験	制御系システム開発企業において、マイクロコンピュータを組み込んだ制御機器の設計・製作などに従事。また、様々なITシステムの設計・製作業務に従事。第一種情報技術者、技術士補（情報工学部門）の資格を所持。		
種別	■後期		
到達目標	基本情報技術者試験に出題されるCASLの問題が解けること		
資格 実施月	毎年4月第3日曜日・10月第3日曜日の基本情報技術者試験		
評価方法	中間試験および期末試験の成績の70%+平常点（出席・課題）30%で評価する。授業日数の3分の2以上の出席および成績評価60点以上で単位を取得できるものとする。		
教科書等	基本情報技術者らくらく突破CASLII（技術評論社）		
指導計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.（第1・2週） 基本情報技術者試験を受験することにおいて、アセンブラ言語を習得することについての意味 コンピュータの処理の基本とアセンブラの動作について PCの基本操作の解説と操作練習</li> <li>2.（第3・4週） メモリとレジスタ、アドレッシングの基本的な考え方 目盛操作に関する基本的なプログラム演習</li> <li>3.（第5・6週） 加算・減算・論理演算命令を使用したプログラムの演習</li> <li>4.（第7・8週） ビット演算処理の解説とプログラムの演習</li> <li>5.（第9・10週） 命令を組み合わせたより高度な数値演算プログラムの演習</li> <li>6.（第11・12週） 命令を組み合わせたより高度な論理演算プログラムの演習</li> <li>7.（第13・14週） スタック演算を使用したプログラムの演習 サブルーチンを使用したプログラムの演習</li> <li>8.（第15・16週） 入出力マクロ命令を使用したプログラムの演習</li> <li>9.（第17・18週） 基本情報技術者試験に出題されるレベルのプログラム演習その1</li> <li>10.（第19週） 基本情報技術者試験に出題されるレベルのプログラム演習その2</li> </ol>		

